

市民フォーラム21 第10回防災部会 会議録(要旨)

日時 平成18年7月4日(火)午前9時30分から

場所 第一庁舎8階 第二委員会室

基本計画骨子案(防災・安全分野について)

事務局から説明(資料1~2)

部会長

全体を通してご質問、ご意見をお願いします。

部会員

基本施策__消防・救急・救助体制の充実、施策__消防体制の充実の中に表記されている「消防力」という言葉が分かりにくいということで修正されているが、個人的な意見としては、「消防力」という言葉を普及していきたい。主な取組の中の「消防団の消防力の向上」についても、施設、装備の充実と併せて消防団員の人間の力も重要であり、これを含めて「消防力」と理解している。「消防力」という言葉が削除されたのは残念ではあるが、前回の部会で議論をして修正していることなので修正案を尊重したい。

第三専門部会員

「消防力」という言葉は、国の施策の中で使われているが、一般の市民の皆さんが分かりづらいとなれば、修正後の表現で特に問題はないと思う。

部会員

次回の計画で入れていただきたい。

部会員

基本施策__日常生活の安全性の向上、施策__防犯対策の推進の主な取組の中に「高齢者や子どもなどの安全確保」が加えられているが、高齢者や子どもだけに限定されてしまう意味合いの文章にとれてしまう気がする。「一般市民を含め、特に高齢者や子ども」のような表現にした方がよいと思うがいかがか。

第三専門部会員

「高齢者や子どもなどの」の「などの」で、一般市民も含まれていると解釈している。4月に「長野市防犯まちづくり推進条例」を施行し、防犯推進協議会で進めているが、大部分が「子どもの安全確保」に集中している。そのような意味からも新たに追加している。

部会員

そのようなことであれば、別項目で分けた方が明確になると思う。

事務局

犯罪の中には、凶悪犯罪やインターネット犯罪などあらゆるものが発生している中で、特に子どもなど、弱者に対する犯罪が大きな問題になっていることから、高齢者や子どもの安全確保の表現を追加している。

現在は骨子であるので現状のままとし、素案（文章）化する段階で、委員さんからのご意見のとおり、「高齢者や子ども」に限定されないような文章表現にしていきたい。次回お示しする素案で、改めて精査、ご議論いただきたいと思う。

部会長

よろしいか。

部会員

了承

事務局

先ほどの「消防力」の件については、施策__消防体制の充実の施策の目標の中で、目指す姿として重要な部分になってくるので、もう少しご議論をいただき、方向性を固めていただければと思う。

部会員

「力」という言葉が社会通念的にどのくらい認知されているのか、分からないことと、「消防力」というと大きく捉えられてしまい、「何でもできますよ」と受け止められやすいので現時点では限定的な言葉の方がよいと思う。

部会員

「消防力」という言葉は欲しいが、施策の目標の中で「消防力」と表現してしまうと、言いたいことが一つになってしまい、具体的に分かりにくくなるので、修正案の「的確な消防体制を築く」の方が一般的に理解してもらえと思う。なお、取組の中の消防団関係については、文章化のなかで「消防団の消防力の向上」というような表現を使っただきたい思いはある。

部会員

委員さんからのご意見は、市民の皆さんの一般的なお考えだと思う。「消防力」という言葉がまだまだオーソリティーになっていないことを痛感する中で、今後5年間でこの言葉が浸透するようがんばっていきたいと思う。この件については、前回の部会から十分な審議をされているので修正案を尊重したい。

第三専門部会員

「消防力」という言葉を認知させていくことは、すばらしい方向性であると思う。この言葉を注釈付きで表現する方法も考えられると思う。

部会員

「消防力」に限らず、他の部会でも「力」という表現があれば、トータルでそれを

補足し、理解できるような手段を考える必要があると思うが、本分野のみで唐突に「消防力」を表現するのは委員さんからご意見があったとおり、分かりにくいと思うので「消防力」は使わず修正案にした方がよいと思う。

事務局

骨子案としては、「消防力」を表記せず修正案のとおりとしたい。また、これまでの議論を踏まえ、素案（文章）化の段階で「消防力」を表現できるかどうか検討させていただきたい。表現する場合は注釈等を入れ補足説明をさせていただきたい。

部会長

よろしいか。

部会員

了承

部会長

全体を通し、この案で8月の審議会に報告していきたい。

指標の設定（防災・安全分野）について

事務局から説明（資料3 - 1、3 - 2）

部会長

資料3 - 1（施策）の指標について、ご質問、ご意見をお願いします。

部会員

目標値は誰が設定するのか。

事務局

目標値については、主として行政側の各担当課が設定をし、その内容について作業部会でご議論をいただきたいと思いますと考えている。

部会員

施策__防犯対策の推進の中に「自主的に防犯活動を行っている団体数」とあるが、「単なる数だけの問題なのか」というイメージを受けた。内容が分かりにくく、形式的であると感じる。他に指標が無かったのか。

部会員

全体を通して、指標の数値が増えれば良いのか、減れば良いのか分かりづらく、統計値の採用根拠が明確にされていないと思う。施策__防犯対策の推進の「年間犯罪（刑法犯）発生件数」についても、検挙率はどうなっているのか、セットで見えていかなくては現在の状況が分からない。量の問題なのか、質の問題なのか疑問が出てくる。

とりあえず、「自主的に防犯活動を行っている団体数」は増えれば良いのか、減れば良いのかお聞かせいただきたい。

第三専門部会員

現在把握している団体数は45団体であるが、その他にも地域で防犯活動を行っている方（団体）もいらっしゃると思われる。本年4月に「長野市防犯まちづくり推進条例」が施行され、実施団体数の取りまとめを始めたところなので、現段階では全体を把握しきれない状況であるが、数値が増えていくことが望ましいことと考えている。

第三専門部会長

現状値の45団体はどのような団体なのか。

第三専門部会員

P T A や区長会等が中心となって活動している団体が多い。

年間犯罪（刑法犯）発生件数については、県警で取りまとめをしているものであるが、指標としてはこれが適当ではないかと考えている。統計的には犯罪件数は減少しているが、体感的には危険度は高まっていると思われる。

第三専門部会長

防犯活動の団体数と犯罪発生件数をリンク付けて考えた場合、指標項目を分けずに一つにした方がよいと思う。また、犯罪発生件数の目標値（減少）を設定する場合、県警と長野市との方向性の相違が考えられる。

事務局

防犯に対しては、県警の後ろ盾というような議論も部会でされてきた経過はあるが、施策_防犯対策の推進、施策の目標で掲げているように、市（市民）としての取組と、目指す姿を掲げている中での成果（活動）として指標を2つ設定している。

部会員

県警の後ろ盾という考え方は納得いかない。また、市の取組を指標として掲げるべきであり、自主的に防犯活動を実施している団体数を掲げること自体食い違いが生じているのではないか。後ろ向きに感じてしまう。

第三専門部会員

市としてのスタンスは、あくまでも地域の皆さんの自主的な活動に対する支援（情報提供等）であり、先頭に立って指導していくというものではない。

部会員

各施策の中に設定している指標項目のレベルが違うのではないか。性質の異なる行動計画目標値と成果目標値が混在しているので分ける必要があると思う。

事務局

基本的には成果指標を設定したいが、中には活動指標を設定せざるを得ないものもあり、活動指標と成果指標が混在している状態となっている。また、ご指摘のとおり、指標のレベルは統一されていないが、様々な指標を検討した中で数値管理ができる指標を各施策の一つの見方（目安）として今回お示しした。また、現在空欄になってい

る目標値やそれに伴う設定根拠等をお示しする（次回の作業部会で提示）ことで分かりやすくなると思うが、最終的には指標の意図が明確で分かりやすい形にしたいと考えている。

部会員

基本計画の中で指標の設定は重要なものであると思う。平成23年度の目標値を掲げるのであれば、過去の数値を掲げ比較をすることも必要ではないか。

また、単位について、件では曖昧であるので、できれば千人率（1,000人当たりの件数）など、普遍性の持つデータで出していただきたい。

事務局

他分野との統一性を図りながら検討させていただき、修正できるものは修正していきたい。

（補足説明）

本日は忌憚のないご意見をいただきたいと思っている。基本指標の考え方としては、基本構想を具現化するための基本計画の中で、それぞれの施策の進捗管理をしていくための目安として目標数値を挙げていくものであるとご理解いただきたい。本日はそのたたき台である。先ほど申し上げたが、基本的には成果指標を設定したいが、各担当課が検討する中でなかなか難しい面もあり、活動指標を設定している項目もある。

部会員

指標については、非常にデリケートな要素が含まれていると思う。指標設定の具体的な内容（根拠）が見えない部分がある。

事務局

今後、目標値を設定する中で、数値の内容についてご議論いただきたい。

部会員

施策__防犯対策の推進の指標である「自主的に防犯活動を行っている団体数」の数は警察のお墨付きの団体なのか。

第三専門部会員

団体数は、「長野市防犯推進協議会」の資料として提出した現段階で長野市が把握しているものである。今後も活動団体について、防犯協会や区長会等から情報提供をしていただく予定になっているので団体数が変わる可能性はある。

部会長

資料3-2（基本施策）の指標について、ご質問、ご意見をお願いします。

部会員

アンケートでやるということか。

事務局

11月頃アンケートを実施する予定である。内容は現段階のものであるので、変更

等については今後の作業部会でお示ししていく。

基本施策については、市民の満足度としてアンケートを実施したいと考えている。やり方としては、広報広聴課で毎年行っている「市民満足度アンケート調査」に将来的には置き換えていきたいと考えている。

行政経営分野について

事務局から説明（資料４）

会議終了時刻が経過しているため、意見等報告書を配布

その他（今後の開催予定）

事務局から今後の開催予定を説明（資料５）

7月25日（火）の防災部会は中止

次回防災部会 8月29日（火）

以上

